

課題は農業従事者の高齢化である。また、島の主要な農業の農繁期が10月～4月と重なるため、島内で労働力を確保することが困難な状況である。同事業を活用し、農繁期が異なる鹿児島県沖永良部島、北海道道南地域、京都府丹後地域で連携して、労働力を融通し合う協力体制の連携基盤を構築する。さらに地域農業の維持・発展に資する産地間連携のロールモデルとして、他産地・他産業にも連携を拡大していく方針である。

事業実施主体構成員

えらぶ島づくり事業協同組合（事業実施主体）、NPO法人やくも元気村（連携団体）、株式会社百章（連携団体）、小葉松真里（フリーランス農家）

協力機関・連携先等

海士町復業協同組合、智頭町復業協同組合、株式会社アグリナジカン、鹿児島大学、和泊町、知名町

設定した成果目標・目標に対する進捗状況

①産地の労働力需要に対する充足率：

	求人数	現状値（目標値）	充足率
鹿児島県沖永良部島	45人	43人（35人）	96%
北海道道南地域	29人	22人（20人）	76%
京都府丹後地域	22人	12人（13人）	55%

（令和7年2月末時点の途中経過）

令和6年度取組み内容

今年度の取組み内容

ア 労働力の需給状況の把握（地域の状況及び労働力提供可能な者の把握等）

馬鈴薯、花卉栽培、果樹、野菜、サトウキビなどの農業法人、個人事業主、農業協同組合にアンケートを実施。（15/15経営体回答）
労働力の特に必要な時期、不足人員、（品目と作業内容）について

1月：30人（馬鈴薯の収穫・選別、花卉収穫・選別・出荷、サトウキビ収穫）

2月：70人（馬鈴薯の収穫・選別、花卉収穫・選別・出荷、サトウキビ収穫）

3月：71人（馬鈴薯の収穫・選別、花卉収穫・選別・出荷、サトウキビ収穫）

4月：37人（馬鈴薯の収穫・選別）

10月：17人（馬鈴薯の種切り・植付け）

11月：18人（馬鈴薯の種切り・植付け）

12月：53人（馬鈴薯の種切り・植付け、花卉収穫・選別・出荷、サトウキビ収穫）

イ 産地内での労働力確保・育成

特になし

今年度の取組み内容

ウ 他産地・他産業との連携による労働力確保

<他産地と連携した労働力確保>
沖永良部島>北海道道南地域：2人
北海道道南地域>沖永良部島：0人
京都府丹後地域>沖永良部島：0人

<他産業と連携した労働力確保>
海士町復業協同組合>沖永良部島：1人

<委任契約からの労働力確保>
小葉松氏の求人募集からの採用：3人

エ 労働力等のマッチング及びデータベース化

各求人サイトからの採用人数を以下に明記する。
・SMOUT：16名
・アグリナジカン：5名
・あぐりナビ：4名（内1名は農業未経験のため補助対象外）

オ 農業の「働き方改革」への取組

- 「産地間連携報告会」として、農家と労働者が集いワークショップを通じて課題や今後の取組について情報共有し、啓蒙活動を行なった。
 - ・産地間連携事業の取組についての概要説明
 - ・受入農家と労働者の本音や島で働いた感想
 - ・リピートしたくなる農園の特徴
（令和6年11月と令和7年2月の2回開催し、計34名が参加）

- 労働者を対象に就農終了後にアンケートを実施している。全ての労働者が就農を終了する5月末にアンケート結果を取りまとめ、6月以降に各農家にフィードバックを実施する。

本事業取組みにおける成果項目

- ・ 11農家の求人数45人に対して、現状値が43人で充足率96%と労働力不足解消につながった。
- ・ 農家が求める労働者について丁寧に聞き取りをし、面接を通じて厳しく審査してマッチングしたため、受入農家から労働者に対する評価が高く感謝された。
- ・ 労働者に定期的なフォローアップを通じて満足度が上がり、次年度以降もリピートしたいというコメントを多くもらった。
- ・ 農業の求人サイトである「アグリナジカン」と連携し、次年度以降も沖永良部島の魅力や農家の求人情報を掲載することで合意し、自産地に意欲の高い農業経験者を持続的に呼び込む仕組みが構築できた。

次年度以降の取組み内容

- ・ 特定技能外国人を雇用している農繁期の異なる農業法人や協同組合と連携し、自産地の繁忙期にまとめて転籍する産地間人材リレーの取組を実施していく。
- ・ 他産地の特定技能外国人を雇用している農業法人や協同組合への視察を通じて、課題や問題点などを洗い出し、受入に向けた準備を整えていく。
- ・ 外国人受入についての基礎知識を学ぶ。（在留資格の変更申請、支援業務、法令、受入体制構築、生活環境など）
- ・ 海外送出国等の実情把握と情報収集を行う。国籍による文化・風習などを理解し、受入農家で問題が発生しないように努める。（ネパール、インドネシア、フィリピン、カンボジア、タイ、スリランカなど）